

科目名	言語聴覚療法概論	担当教員	北風 祐子 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	選択	2年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23B	③					

科目概要	言語聴覚療法の対象となる様々な障害について、その定義や分類を理解する。また、成人および小児の言語聴覚障害の特性を理解し、評価、治療、指導や対応について学ぶ。広く、コミュニケーションにかかる障害であるため、ヒトとのコミュニケーションの成り立ちについても考える。さらに、特に連携が求められる摂食・嚥下障害についての基礎知識を学ぶ。
学習目標	① 広くコミュニケーションについて、その過程や方法について理解することができる。 ② 臨床で出会うであろう様々な言語障害について、その特徴を把握し対応を考えることができる。 ③ チームアプローチに必要な他職種の業務について理解できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	言語療法総論	オリエンテーション コミュニケーション・言語聴覚療法の概要	コミュニケーションについて考える。 言語聴覚療法の歴史や対象について理解する。	
2	成人言語障害①	失語症とその評価・対応	失語症の基本的な症状を理解する。 失語症の方への対応を学ぶ。	
3	成人言語障害②	構音障害・音声障害とその評価・対応	構音障害や音声障害の症状を理解する。 失語症との違いを理解する。	
4	小児言語障害・ 聴覚障害	小児の言語障害各論 聴覚障害の基礎と対応	様々な小児の言語障害について理解する。 聴覚障害の基本的障害象を学ぶ。	
5	摂食嚥下障害①	嚥下機能の基礎と嚥下障害	摂食嚥下のメカニズムを理解する。 嚥下障害の症状について理解する。	
6	摂食嚥下障害②	嚥下障害の評価・対応・リハビリテーション	姿勢や食事形態など、嚥下障害の対応やリハビリテーションについて学ぶ。	
7	その他障害	高次脳機能障害・認知症など様々な言語聴覚療法の対象とする障害の概要	失語以外の高次脳機能障害や認知症の症状や評価、対応について理解する。	
8	様々な領域	地域言語療法（訪問・介護予防等）について チームアプローチについて	様々な領域での活動を知り、チームアプローチや役割分担を考える。	
評価方法		筆記試験(100%)		
課題に対するフィードバック		授業をとおしてフィードバックする。		
教科図書		配布資料		
参考図書		中村隆一、佐直信彦・編『入門リハビリテーション概論 第7版』医師薬出版株式会社、2009年		
学習の準備		復習は必ずすること（180分）		
オフィスアワー		講義の前夜		

担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	
-----------------------------	--